

- ◆企画名 日帰り合宿 グラフィックデザインを学ぼう！
 日程 2022年9月15日（木）12：00～16：30
 場所 千里山キャンパス第1学舎 E503 教室
 参加者数 20名（ピア・サポータ5名、研修生6名、シニア・サポータ1名、
 TA2名、教職員6名）

目 的

- ・広報力のスキルアップを図る。
- ・プレゼンスキルを磨く。
- ・ポスターや Instagram で興味を引くデザインができるようになる。
- ・無料グラフィックデザインツール Canva の使い方を学ぶ。
- ・ポスター制作における知識やノウハウを習得する。

内 容

- ・開会式（12：00～12：15）
- ・ビブリオバトル（12：15～13：35）
 行きたい場所についてパワーポイントを作成し、グループで発表
- ・休憩（13：35～13：55）
- ・Canva の使い方講座（13：55～16：15）
 ポスターデザインのコツについて
 Canva の基本操作
 各コミュニティの紹介ポスター作成
- ・閉会式（16：15～16：30）



効 果

- ・Canva の使い方を学ぶことができたため、これから Canva を利用して伝わりやすいポスターを制作することができるのではないかと考えられる。
- ・他のコミュニティの学生同士の交流を深められた。
- ・Canva の特徴や使い方を、グループワークを通して学ぶことができた。
- ・ビブリオバトルではさまざまな人の発表を見ることができたため、これからさまざまなところで発表するときに活かすことができると考える。

改 善 点

○準備

- ・初期の準備段階で役割分担ができておらず、どれを誰がやるのか等が曖昧だった。
 →それぞれのタスクの進行状況を共有する。
- ・全コミュニティ内でイベントの周知がうまくできていなかった。
 →LINE や Teams で共有するだけでなく、各コミュニティの代表者にコミュニティ内においても周知してもらえるように声をかけるようにする。
- ・対面による打ち合わせ等がなかったため、企画の進捗が遅かった。
 →Zoom による会議では意見を出しづらい雰囲気があるため、ピアエリア等を活用して対面の機会を増やす。
- ・タスク表を作成していなかったため、個人に業務が偏ってしまった部分もあった。
 →誰が何をやるのかといった点を可視化する。

○当日

- ・司会が原稿を読み過ぎだった。
 →原稿については進行の流れを把握するために用意はするものの、実際には音読ではなく、場の雰囲気をつかみながら臨機応変な対応を行う必要がある。
- ・ビブリオバトルの時間内で、1人で作業する時間を設けていたが、想定していたよりも静かに黙々と作業する形になってしまった。また、話し手が注目してもらえるように、ただ話すだけにならないようにする。
 →あくまで交流ベースであるので、今後のイベントにおいてはこういった時間の省略を図りたい。

- ・参加者アンケートにパワーポイントの作り方講座もあったらよかったという声があったので、これから何かを作成するようなイベントの際は、作成方法などの説明は詳しくしていく必要がある。
- ・当日の参加者確認を目視でしか行わなかった。
→今後、参加者が多くなった時のことも想定し、名簿等での管理を行う。

感想

- ・新メンバーにも役割を分けることができたため、当日の企画進行をスムーズに進めることができた。
- ・この企画のために毎週の定期ミーティングを設定したため、タスクの期限設定を行いやすく、早い段階から準備を進められた実感があった。
- ・大きなテーマである **Canva** でのポスター制作は、実用性もありコミュニティ内で試行錯誤して作成する良い機会となった。よってテーマ設定も成功であったと考える。
- ・場の雰囲気を読むことや次の工程にすすむ時の注意を引く行動などを含む、臨機応変さを身に着けることができた。

活動の様子

